



埼玉支部報 第5号

目次		50山ラリー実施状況	5
埼玉支部第2回懇談会を開催	1	森づくりプロジェクト平成23年度第3回活動	6
会津紅葉登山に参加して	2	エベレスト登山の後援について	7
登山講演会及び忘年懇親会・清掃山行	3	会員の皆様へ（山岳保険加入の勧め）	7
安全登山講演会／安全登山講習会実施状況	4	埼玉支部委員会状況／同好会状況／会員異動状況	8



埼玉支部第2回懇談会を開催

平成24年1月14日、埼玉支部第2回懇談会がさいたま市大宮区にある「介」(大宮東口店)で会員32名が参加して開催された。和気藹藹の中で、24年度の年間事業計画や各委員会・各同好会・各会員の抱負が発表された。会員の方からの持ち込みブランデーもあって、飲み物は豊富であった。

懇談会終了後は、希望者が氷川神社に参拝しケヤキ並木の参道を散策し、まだ残る正月情緒を楽しんだ。その後は更に希望者による二次会が大宮駅近所の居酒屋でおこなわれた。

この1年、会員の方々のご活躍をお祈り致します。

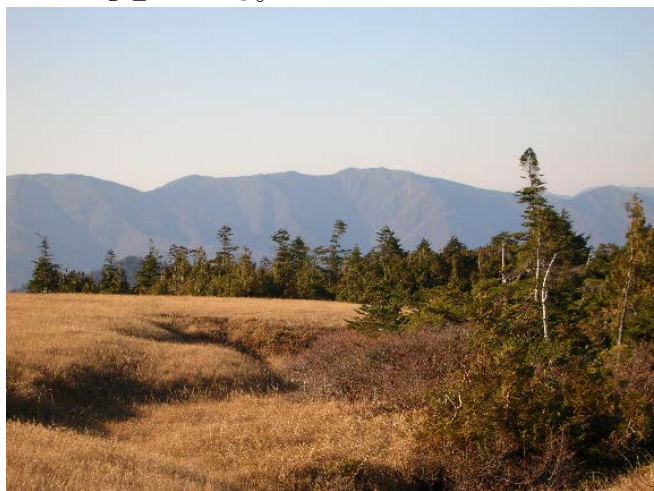


会津紅葉登山に参加して 橋本久子

10月の29、30日に会津の紅葉登山に参加した。埼玉支部に入会して間もなかったが「会津、、、」と聞いて迷わずに参加申し込みをした。

私の故郷は、福島県は中通の田村市である。会津地方とは離れているが同じ福島県である。この三月の東日本大震災以来「フクシマ」の話題が絶えた日は無い。心の痛む日々であるが、少しでも福島に近づいていたいと思う。

ちなみに福島は登山家の田部井淳子さんの出身地でもあり、わが田村高校の大先輩でもある。数々の輝かしい業績と現在もお生き生きと逞しく活躍されている姿は傍から見ても誇らしい。そのバイタリティを見習いたいといつも思っている。



田代山から会津駒ヶ岳を望む

1日目は田代山である。今回のリーダーの宮川さんは、私の住む狹山市に在住ということを知り、入曽駅始発の電車で待ち合わせていただいた。心強いことである。

田代山は昨年と同じ時期に登ったが、去年と大きく違ったことは、頂上に着くや白い小さな画用紙が配られて、皆が一斉にスケッチを始めたことである。全く予想していなかったのも持ち合わせのボールペンでやたら線を引くばかりという有様だった。が、絵は好きなのでこのアイデアは素敵と思った。この次の山行ではもっとまじなスケッチをしたい。

このことをきっかけに11月には富樫さんが企画してくださった秩父のスケッチ山行に参加させていただいた。山で絵を描くのはわけもなく楽しい。

2日目は荒海山に登った。今度は湿原の田代山とは打って変わってさまざまな樹林の中を、落ち葉を踏みしめながら歩くというさわやかな登山である。

顔ほどもある朴の葉は川べりに多かった。ところどころ岩場もあってロープで登ったり下りたり変化の楽しめる山である。夏場は草深く大変暑苦しい山らしいが、この季節は気候もよく紅葉の中を歩くのが本当に気持ちよくもっともっと歩いていたいと思ったほどである。少

し残念だったのは頂上に着いた時間が遅くて、下山にも時間がかかったことである。「秋の日はつるべ落とし」とはよく言ったものだ。バスの運転手さんを待たせてしまったのが申し訳ない。今度はもっと早く出発しよう。



荒海山に向かう



荒海山山頂

この山行のメンバーは15名だったが、新参者の私を温かく受け容れてくれてそれがとても心に残った。バスの中や夜の懇親会のなんと楽しかったことか。この次はどんな山にご一緒できるか今から楽しみである。



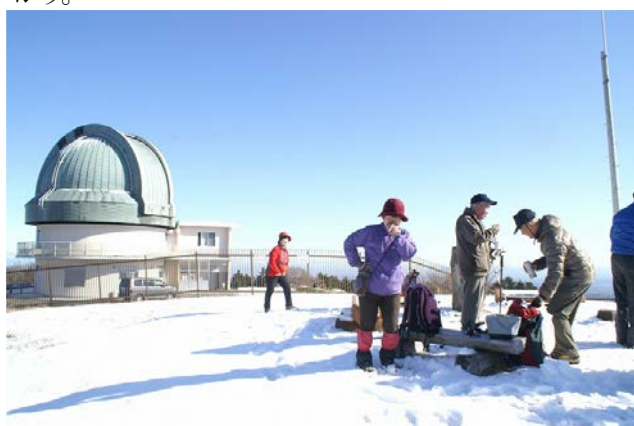
第1回スケッチ山行(羊山公園からの武甲山)(富樫)

登山講演会及び忘年懇親会・清掃山行 川村利子

平成22年12月10日(土)・11日(日)に開催。

●1日目(12月10日)

大宮、小川町からのマイクロバス組と、自動車組とが合流して白石峠で下車。昨日降った平地の雨が山では雪になりマイクロバスのルートは大幅な遠回りとなってここまで来た。当初の予定であった笠山には行かず、堂平山だけとなる。林道を歩いて堂平山に登る。好天に恵まれて両神山、遠くに浅間山が真っ白に化粧している。風もなく穏やかでしばし展望を楽しみ今日の宿舎「名栗元気プラザ」に向かう。



雪の堂平山

宿舎に着いて2時から正田会員の司会で石橋支部長の開会のご挨拶に続いて、大山会員の「マナスル登頂報告、高所登山の実践」を美しいスライドを見ながらお話を聞く。日常と違う世界の美しいスライドと緊張感のある迫力に感動を覚える。

続いて松本会員の「修験道の研究報告」に精神性の高い研究をされていらっしゃる心引き締まる思いがする。

次に田尻会員の「インドネシアバリ島・ジャワ島スメル山のトレッキング」のスライドと記録報告について伺う。スメル山は大変な山だったようでさすがと山岳会の会員の健脚に感心する。

夕食を終えてすぐに忘年懇親会にはいり、和やかな雰囲気の中、自己紹介後、今回の趣向として皆さんご自慢の山道具をそれぞれ見せていただいた^(*)。

ピッケルを持ってこられた方が多く、その他古い地図^(*)、ガスバーナー、帽子、ザックとどれも使い古された温かみのあるものばかりだった。

夜は10年に1度の皆既月食を楽しんで眠りに就いた。

●2日目(12月11日)

今日も快晴。8時30分出発。広町で下車。清掃登山でゴミ袋をもって大霧山にむかう。ゴミは登山

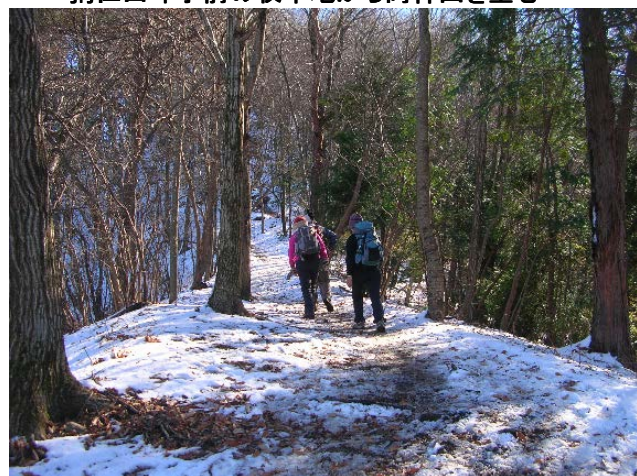
口が多い。空き缶、飴とかガムの包み紙等を拾った。粥新田峠から大霧山に向かったが頂上直下は雪が踏まれて滑りやすく緊張した。

ここも両神山、遠くに浅間山とすばらしい眺めだった。富樫さんから頂いたハガキにスケッチをして楽しんだ。

復路はピカピカになった登山道を心も軽く快適に下山した。



粥新田峠手前の牧草地から両神山を望む



大霧山への登り

皆さまのおかげで大変楽しい講演会、懇親会及び山行になりましたこと、心より感謝いたしております。どうもありがとうございました。

(*)自慢の山道具のコンテストでは次の方が入選された。

藤野会員の地図^(*)、高橋会員のピッケル、三角会員の各国の帽子。

(*)コンテスト1位となった藤野会員の地図の一部は本号「50山ラリー実施状況」で紹介しています。また、コンテストに出されたピッケルの一部は飯能駅前の「山遊人」(支部報第2号参照)に展示されております。

第4回安全登山講演会開催

- 題目 ; 山のファーストエイド
- 開催日時 ; 2011年10月19日(水)19～21時
- 場所 ; 大宮区仲町2-60「川鍋ビル8階会議室」
- 講師 ; 恵秀彦(いさお ひでひこ)氏
- ・日本山岳会埼玉支部安全登山委員
- ・MFA(メディックファーストエイド)インストラクタ・トレーナー
- ・日本山岳協会遭難対策委員会、医科学委員会常任委員
- ・日本山岳会指導委員会、医療委員会委員
- ・著書:登山者のためのファーストエイド・ブック(東京新聞、2010年4月発刊)
- ・山岳救助、救急医療に関する講習の第一人者



●内容

①山での救急処置

	街	山岳地帯
早期通報	有線電話、携帯電話などで 覚知、現場到着まで 平均約10分	携帯電話、無線などで覚知、 現場到着まで数時間～数日
早期CPR	バイ・スタンダー (そばに居合わせた人) によるCPRが可能	登山者によるCPRが可能
早期 徐細動	施設などにAEDがあれば可 能	山小屋など施設内にAEDが あれば可能
早期二次 救命処置	MC体制など地域の救急医 療サービスに依存	ドクターヘリなど医師に よる救命処置が可能 (条件による)

(注) CPR;心肺蘇生法、MC;メディカル・コントロール

②AED(自動体外式除細動器)

- ・現在全国で AED 約 34 万台。山小屋にも設置されつつある。1辺がボールペン大のコンパクト AED が海外で発売。

③SAMPLE(傷病者の医療情報として伝えるべきこと)

S	Sign&Symptoms	症状
A	Allergies	アレルギー
M	Medication	内服薬
P	Past medical history	病歴
L	Last oral intake	最終食事摂取時刻
E	Event preceding incident	事故前の出来事(事故原因)

④国際山岳認定医

- ・UIAA MedCom(国際山岳連盟医療部会)により 1997 年に制定された。
 - ・国際認定登山医制度。現在はUIAA(国際山岳連盟)/ISMM(国際登山学会)/IKAR(国際山岳救助協議会)が認定する国際的な Diploma(資格)に発展している。
- (安全登山委員会 原田)

第5回安全登山講演会開催

- 題目 ; 「なぜ起きたのか、山岳遭難」
～その原因と安全対策

- 開催日時 ; 2012年1月28日(土)13～17時
- 場所 ; 浦和区高砂3-1-4「埼玉会館」
- 講師 ; 埼玉県秩父警察署・埼玉県警察山岳救助隊
副隊長 飯田雅彦氏
- 後援 ; 埼玉県教育委員会・埼玉新聞社
- 内容(注;山と溪谷2012年2月号の記事も参照した)
- ①2011年の埼玉県内の遭難(12月20日時点)
 - ・遭難件数;36件
 - ・遭難者数;49人(死者は2人)
 - ・2010年の遭難件数60件、遭難者数104人、死者10人を除くとほぼ例年並み。
 - ・死亡事故2件の内容
 - ー 山菜採り中の事故
 - ー 熊倉山で6人パーティが道迷いで岩場で滑落
- ②最近の遭難事例での特徴
 - ・登山の基本(早い時間の行動、パーティの団体行動)が守られていない。
 - ・若年層登山者の知識・経験不足
 - ・行き先の不連絡、形式的な登山計画書
- ③課題
 - ・中高年登山者
 - ・未組織の若い登山者

第1回安全登山講習会開催

- 題目 ; AEDを用いた心肺蘇生法
- 開催日時 ; 2012年2月12日(日)13～16時
- 場所 ; 大宮区仲町2-60「川鍋ビル8階会議室」
- 講師 ; 渡邊 浩氏
- 日本山岳会埼玉支部安全登山委員、山岳スポーツ指導員(日本体育協会)、救急法指導員(日本赤十字社)



●内容

- ①救命手当(市民がおこなう一次救命処置)
 - ・心肺蘇生(胸骨圧迫30回、気道確保+人工呼吸2回)
 - ・AEDによる除細動
- ②救助者が守るべきこと
 - ・自分自身の身の安全を確保する。
 - ・原則として医薬品は使わない。
 - ・医師などへ引き継ぐまでの手当である。
 - ・必ず、傷病者に医師の診察、治療を受けさせる。
 - ・傷病者の死亡の判断をしない。
- ③実習
 - ・意識の確認～詳しい観察、うつ伏せ～体位変換
 - ・心肺蘇生(胸骨圧迫30回、気道確保+人工呼吸2回)
 - ・AED到着～AED使用～心電図解析～電気ショック

50山ラリー実施状況

●2011.11.5 No.27 伊豆ヶ岳(850.9m)

西武秩父線正丸駅→馬頭観音→泣き坂→五輪山→伊豆ヶ岳(三角点がある)→古御岳→天目指(あまめざす)峠→子ノ権現→東郷神社→西武秩父線吾野駅



伊豆ヶ岳 男坂の岩場



子ノ権現

●2011.12.10-11(忘年山行)

No.26/30 堂平山(875.8m)/大霧山(766.6m)

1日目：大宮→(マイクロバス)→JR 八高線/東武東上線小川町駅→(マイクロバス)→白石峠→堂平山(一等三角点がある)→白石峠→(マイクロバス)→名栗げんきプラザ(講演会・忘年会)

2日目：名栗げんきプラザ→(マイクロバス)→広町→粥仁田峠→大霧山(三角点がある)→粥仁田峠→広町→(マイクロバス)→武甲ノ湯→(マイクロバス)→西武秩父線芦ヶ久保駅→(マイクロバス)→大宮

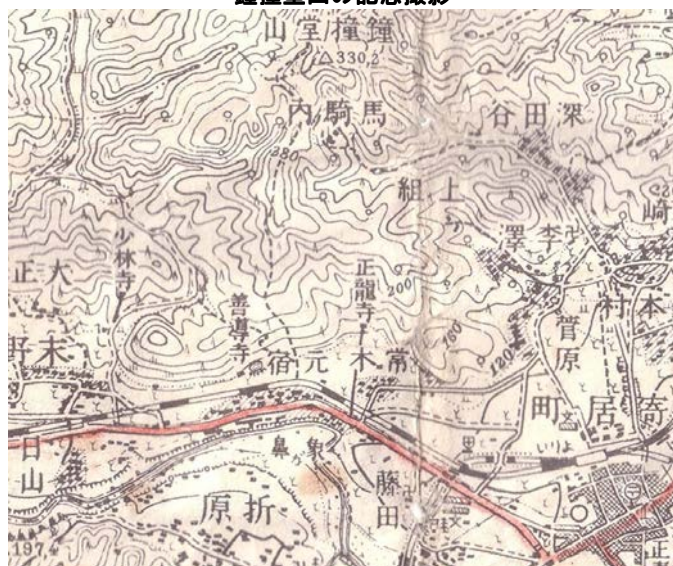
忘年山行の状況は「登山講演会及び忘年懇親会・清掃山行」を参照ください。

●2012.1.3 No.40 鐘撞堂山(329.9m)

JR 八高線/東武東上線/秩父鉄道寄居駅→大正池→馬騎ノ内(竹林)→鐘撞堂山(三角点とあずま屋がある)→円良田湖畔→羅漢山→少林寺→善導寺→正龍寺→寄居駅(駅前の蕎麦屋で新年会)



鐘撞堂山の記念撮影



昭和27年発行の5万図「寄居」による鐘撞堂山横書きの地名は右から読みます(藤野会員提供)

2012.4.8(日)「ふれあい登山」で鐘撞堂山に登ります。今度は桜の季節です。障がい者の方と一緒に登ってみませんか。

●2012.2.4 No.34 越上山(566.5m)

西武池袋線東吾野駅→ユガテ→越上山(三角点がある)→諏訪神社(昼食)→顔振峠→役ノ行者像→黒山三滝→黒山バス停→(バス)→JR 八高線/東武越生線越生駅
立寄り湯; 鉱泉宿(黒山バス停そばに2軒)、厚生年金休暇センター(帰りのバスが停車)、ゆうパークおごせ(越生駅から送迎バスあり)



越上山を望む



黒山三滝の一つである雌滝

50山山行への参加をお待ちしております。また50山の様子をホームページに掲載しているのでは是非ご覧ください。皆様からの情報も掲載しますので、情報をお寄せください。

埼玉支部会員のための50山の一覧

No	山名	標高	支部山行実施状況
1	三宝山	2483.3m	
2	甲武信ヶ岳	2475m	
3	木賊山	2468.6m	
4	雁坂嶺	2289.2m	2012.11 予定
5	飛竜山	2069.1m	
6	白石山	2036.0m	2012.10 予定
7	雲取山	2017.1m	2012.4. (三支部合同登山予定)
8	笠取山	1953m	2012.11 予定
9	三国山	1834m	
10	両神山	1723.0m	2011.4.9 総会記念山行
11	天目山	1718.3m	
12	大平山	1603.0m	
13	霧藻ヶ峰	1523.1m	2011.11.19,20 (三支部合同登山予定)
14	蕎麦粒山	1472.9m	
15	秩父槍ヶ岳	1430m	
16	熊倉山	1426.5m	2012.7 予定
17	矢岳	1357.9m	
18	武甲山	1295.4m	2010.11.13「50 山山行」
19	有間山	1213.5m	
20	二子山	1165.8m	
21	御岳山	1080.4m	2011.10.1「50 山山行」
22	武川岳	1052m	2012.9 予定
23	城峰山	1037.7m	2011.8.6「50 山山行」
24	棒ノ折山	969m	2011.7.2「50 山山行」
25	丸山	960.3m	2010.4.11 設立記念山行
26	堂平山	875.8m	2011.12.10 忘年山行
27	伊豆ヶ岳	850.9m	2011.11.5「50 山山行」
28	笠山	837m	2012.3. 予定
29	四阿屋山	771.6m	2011.3.5「50 山山行」
30	大霧山	766.6m	2011.12.11「50 山山行」
31	登谷山	668m	2011.9.11「50 山山行」
32	破風山	626.5m	2012.5 予定
33	簗山	586.9m	2011.5.7「50 山山行」
34	越上山	566.5m	2012.2.4「50 山山行」
35	陣見山	531.0m	2013.1 予定

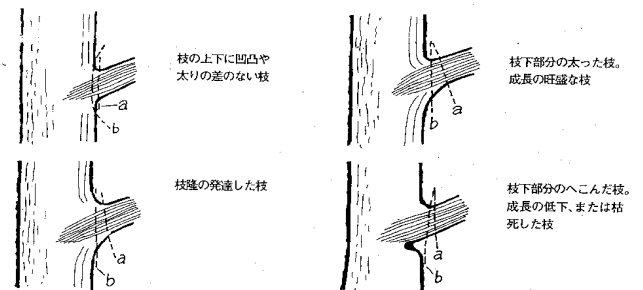
36	宝登山	497.1m	2011.2.5「50 山山行」
37	大築山	466m	2013.3 予定?
38	雷電山	418.2m	2013.3 予定?
39	物見山	375.4m	2011.1.8「50 山山行」 2011.4.17 ふれあい登山
40	鐘撞堂山	329.9m	2012.1.3「50 山山行」 2012.4.8 ふれあい登山(予定)
41	日和田山	305.0m	2011.1.8「50 山山行」 2011.4.17 ふれあい登山
42	金勝山	263.9m	2010.12.11 忘年山行
43	天覧山	197m	2012.12 予定
44	物見山	135.0m	
45	二ノ宮山	131.7m	
46	荒幡富士	119.1m	
47	大久保山	112m	
48	観音山	77.4m	2011.6.4「50 山山行」
49	丸墓山	35.7m	2011.6.4「50 山山行」
50	浅間山	約 20m	2011.1.15 支部懇談会

(注)来年度はまだあくまで予定であり、変更があり得ます。泊りが必要な山も入って来ます。また、2013.3 月は大築山または雷電山のいずれかを考えています。

自然保護委員会「森づくりプロジェクト」 平成 23 年度第3回実施

- 活動日 ; 平成 24 年1月 28 日
- 場所 ; 東吾野
- 作業内容 ; ヒノキ林の枝打ち(下図を参照方)
- 参加者 ; 埼玉森林サポータークラブ 14名
埼玉支部 龍委員長以下9名

枝の切断位置



枝の切断位置 a : 変色を避け、かつ残枝長を小さくするのに適
b : 変色は発生しても残枝長を極力小さくするのに適

●作業状況



急峻な枝打ち現場

現場に向かう林道に架かる橋が大雨被害により損壊、橋手前でミーティング、特に埼玉森林サポータークラブ担当から図解を交え、業務(製材)用に適した檜の枝打ちの心得(切断位置の確認ときれいな切断手法など)を学ぶ。ヘルメット、ノコギリ、手袋などを装備し徒歩で現場に到り、枝打ちする植林10年の鬱蒼たる檜林を仰ぎみて9時作業開始。

檜の枝が地上部から先端まで横枝が密集し、常緑樹とも重なりあっている。支部9人が横一列に並び各々が2〜3本幅を担当、枝打ち心得を念頭に地上部から手が届く高さまでの横枝をノコギリで切り落とし、周りの余分な常緑樹も取り除きながら上へと進む。

2回の休憩タイムがあったが、支部メンバーは寸暇を惜しむかの様に枝打ちを続ける。一息し振り返るごとに登ってきた暗い森が拓かれ、日差しがきらきらと差し込み、達成感みなぎる枝打ちの醍醐味でもある。最初のノコの切れ味が時間ともに悪くなったが、腕の疲労とノコギリにつく檜の油が原因らしく、今後の参考にしたい。

12時作業終了、無風の日だまりに参加者全員が集合。昼食と歓談のひとつときに相互の情報交換など、今後のさらなる森林サポータークラブと埼玉支部のコラボレーションが語られた。また、支部の参加者からは間伐の希望もあり、年間スケジュールの再考も検討したい。

今回の現場は4回目の枝打ち、完了までさらに4回の枝打ちが必要であるとの事で、参加人数の確保が大きな課題となっており、より多くの方々参加をお願いします。



作業後の集合写真

(自然保護委員会 朝日)

エベレスト登山の後援について

埼玉支部の大山光一会員から2月9日付けで申請があった事業について、埼玉支部として後援することに決定しましたので報告します。

埼玉支部の委員会状況

各委員会からの情報です。支部委員会での情報をもとに、支部報前号発行以降の状況を広報委員会が編集したものです。

●総務委員会

・総会開催予定 ; 平成24年4月7日(土)13:30〜

●事業名 「2012年 エベレスト登山隊」

●目的

- ①世界最高峰のエベレスト(8848m)にネパール側から登頂
- ②より困難な8000m峰登山に向けて、高所登山の実践
- ③あきらめなければ夢は叶う、その実践

●行動概要

カトマンズから空路でルクラに入り、エベレスト街道を辿り、ナムチェ、タンボचे、デンボジェを経て、チュクンからアイランド・ピーク(6,160m)にて、高度順化を図る。

その後、ロブचे、ゴラクシェ経由、エベレストのベースキャンプ(BC:5,300m)設置。第一キャンプ(C1:6,050m)、第二キャンプ(C2:6,450m)、第三キャンプ(C3:7,300m)、サウス・コル下部に第四キャンプ(C4:7,900m)を設置後、エベレスト山頂(8,848m)を目指す。登頂後、往路を下山。

●構成

・メンバー 大山 光一 (63歳)

社団法人日本山岳会埼玉支部、山学同人 比企

・登山協力員 2名

・コック 1名

●実施期間 2012年 4月中旬 ~ 6月初旬

(事務局)

埼玉支部会員の皆様へ

埼玉支部の山行・集会委員会が事業として支部山行四季の山や埼玉50山等の安全登山を行っており、安全登山委員会では第1回講習会「増加傾向の山岳遭難」、第2回講演会「他人事でない山岳遭難:その原因と安全登山対策」、第3回講演会「夏山登山の山岳気象」、第4回講演会「山のファーストエイド」、第5回講演会「他人事でない山岳遭難:その原因と安全登山対策」等の安全登山対策の講演会を実施し、登山現場で役立つ知識や経験を培ってまいりました。

日本山岳会では登山中の事故による保険の加入を勧めております。登山中の事故対応には遭難捜索費用・救助者費用・後遺障害費用等の保険が必要と考えます。埼玉支部での山行の参加には自己責任として日本山岳会他の山岳登山は保険の加入が必須です。中高年の登山には事前の安全対策と万が一の事故での対策と保険の加入が必要です。

山岳保険に未加入の会員の方には日本山岳会 団体障害保険をご紹介しますので事務局にお問い合わせください。

併せて退職されている支部会員におかれましては定期的に健康診断を受ける機会が少なくなっております。是非、年に一度は医療機関におもむいて受診されることをお勧め致します。

(事務局)

(2012年は千葉支部に決定している)

- ・大山会員から申請があった「2012年エベレスト登山」を2012年2月の支部委員会で、支部として後援することに決定。

●広報委員会

- ・携帯電話向け埼玉支部行事案内ページを提供しているので是非ご利用願いたい。

<http://jac.ec-site.jp/keitai/Kmenu.html>

- ・50山ホームページなど随時アップデート。
- ・ホームページを日本山岳会本部のサーバマシンに移行することを検討。現在の予定では4月末に移行を完了することで進めている。これに伴い、メーリングリストの運用が変更になる予定。
- ・本部サーバマシンにホームページを移行してからは、本部サーバマシンの機能を利用して、埼玉支部員用のブログ立ち上げを検討したい。
- ・支部報第5号編集
- ・2012年度も支部報を3回発行予定
- ・埼玉支部とコラボレーションしている団体への行事案内の検討(例えば埼玉森林サポータークラブへの案内)

●山行・集会委員会

[50山山行]

- ・毎月1回のペースで実施中(「50山ラリー実施状況」を参照方)
- ・来年度からは宿泊やアプローチ手段の確保が必要な場合もあり、自由参加という訳にも行かず、参加方法を検討。

[一般山行]

- ・三支部合同の雲取山は台風の影響で更に延期
→ 4月に開催することを検討
- ・2012年度の山行予定を検討
→ 6月(栃木支部との合同登山)、8月(北アルプス剣岳)、10月(東北の山)、2月(北八ヶ岳)を予定

[海外山行]

- ・7月、インドネシア・スマトラ島の山を予定
- ・10月下旬～11月上旬、東チベット未踏峰を予定(登山隊だけでなく、トレッキング隊も予定)
→ 2/29(水)に第1回勉強会。5月下旬には編成決定。別途委員会を立ち上げて対応の予定

●自然保護委員会

- ・2012年度の予定を検討
 - ー 森づくり ; 6月、9月、12月
 - ー シカ被害森林実態調査 ; 5月
 - ー 自然観察会 ; 11月
 - ー シンポジウム ; 1月

●安全登山委員会

- ・講演会予定
 - ー 第6回(夏山気象) ; 6月
 - ー 第7回(読図) ; 10月
 - ー 第8回(遭難) ; 1月
- ・講習会予定
 - ー 第2回(救急法) ; 2月

●社会貢献委員会

埼玉支部の同好会状況

●陸地測量部

- ・毎月原則第1木曜6時半から、例会を浦和駅前パルコ10階の集会室で実施している。(飛び入り歓迎です)
- ・調査山行を随時実施している。ただし、このところ、雨や雪にたたられて中止が続いている。
- ・自然保護委員会とのコラボレーションをおこなっている。
- ・部員による調査報告をまとめており、まとまった時点で支部内向け公表をおこなう予定である。

●アルパインスケッチクラブ埼玉支部

スケッチ山行を実施しました。

・第1回JAC埼玉支部アルパインスケッチクラブスケッチ山行

- ー 参加者:高崎辰箕、鈴木捷夫、岩本芳雄、川村利子、神森登代子、橋本久子、富樫信樹
- ー 2011年12月27日(日)晴れ。鴻巣に集合して西武秩父駅で合流。羊山公園で武甲山をスケッチ。武蔵屋でそばをおいしくいただく。299号線で両神山の見える林道に行きスケッチをする。

・第2回JAC埼玉支部アルパインスケッチクラブ妙義山・浅間山スケッチ山行



- ー 参加者:高崎辰箕、川村利子、橋本久子、富樫信樹
- ー 2011年12月25日(日)晴れ。富岡ICの手前から浅間山と妙義山が並んで見える。ICを出てスケッチポイントを探して高台の梅の丘に登りスケッチを開始。赤城おろしの空っ風が冷たく早々に退散する。254号線を北上して一の宮北から47号県道で妙義神社に。昼食のそばをおいしくいただいてふるさと美術館の展望室で快適にスケッチを楽しんだ。

埼玉支部の会員異動(2012年2月上旬現在)

入会:	上野 濟	13261	臼木博信	12416(復活)
退会:	新井 昇	12399(死去)	長尾登之助	3765(死去)
	眞仁田美智子	7688	田口憲司	7117

編集後記

50山は毎月開催されています。今後は宿泊登山になるようですが、参加しやすい日帰り登山も是非継続して実施して欲しいと思っています。違うコース、50山を眺めるコースなど工夫して戴きたいと思います。支部友や関連団体の仲間も気楽に参加できれば、埼玉支部の輪も広がって行くのではないのでしょうか。皆さまの参加をお待ちします。(堀川)

日本山岳会埼玉支部報 第5号
2012年(平成24年)2月 日発行
(社)日本山岳会 埼玉支部 発行者:石橋正美 編集者:堀川清
事務局:〒365-0053 鴻巣市緑町5-16 富樫方
ホームページ: <http://jac.ec-site.jp>
Eメール: info@jac.ec-site.jp